

社会福祉施設等（介護）を運営する事業者様へ

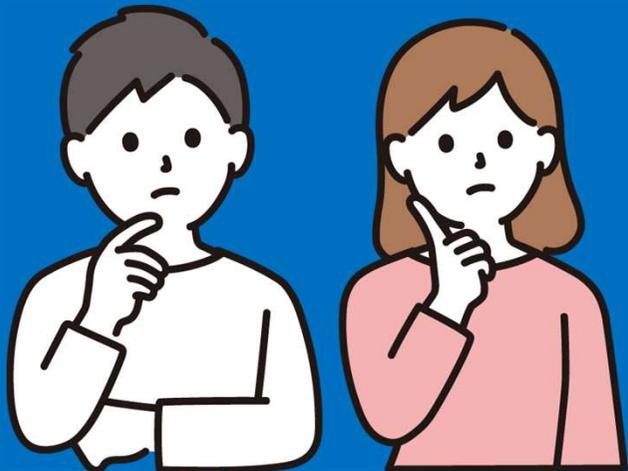
川口市の結核患者さんは、**6割が60歳以上**です

正しい知識を持ち、
慌てず冷静な対応をお願いします



結核

正しく知っていますか？





日本の重大な感染症

今でも**1日に28人**の新しい患者が発生し、
5人が命を落としている。

(引用：結核予防会 結核の常識2024)

結核について

～正しい理解のために～

▷結核とは？ → 結核菌によって肺に炎症が起こる病気

▷感染のしくみ（**空気感染**）

咳等のしぶきと共に排出される菌を吸い込み、肺の奥に定着し感染する

▷発病

身体の中で菌が増殖し、何らかの身体の変化や症状が出ること

次のような症状には要注意！

タンの絡む**咳・微熱・身体のだるさ**が2週間以上続く。

＜こんな症状にも注意＞

- ✓ 体重が減ってきた。
- ✓ なんとなく食欲がない。
- ✓ 寝汗をかくようになった。

⇒いずれかに当てはまる場合には早めに受診しましょう！

川口市の結核の現状は？

▷令和5年度 結核罹患率（人口10万対）

埼玉県
7.9

全国
8.1

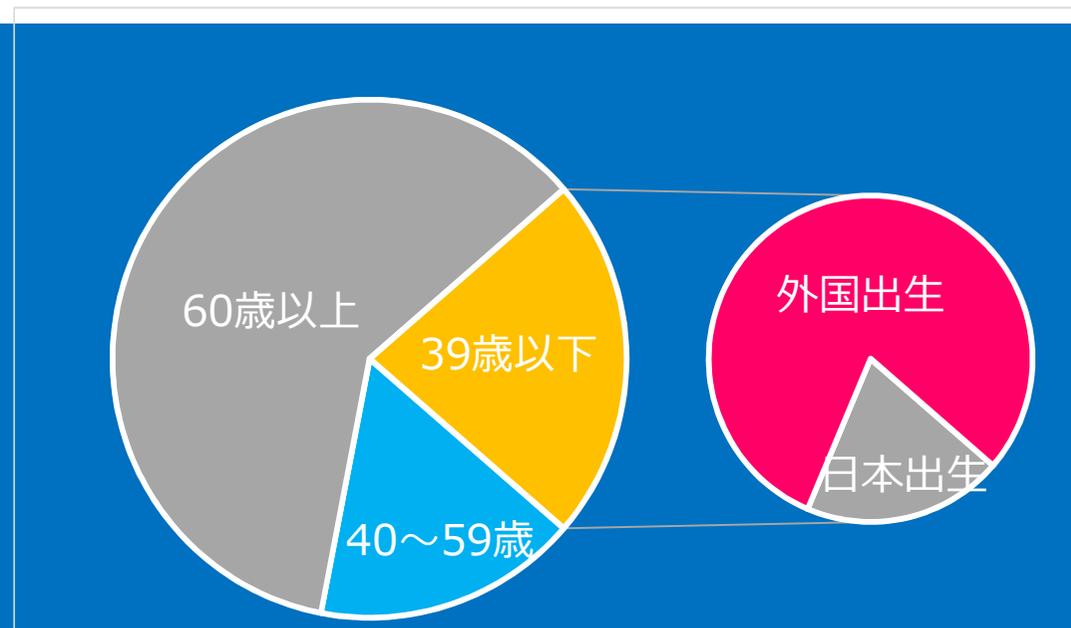
川口市
10.9

川口市
新規登録患者
66名

全国や埼玉県と比べて、川口市は結核と診断される人が多い

川口市 新規結核患者 年代別内訳 (令和5年度)

新規結核患者の6割が60歳以上



若い世代（39歳以下）では、
8割（80%）が外国出生

➡結核と診断された人のほとんどが感染源不明！

▶ 令和5年 川口市新規結核患者年代別内訳

結核は予防できるの？

- ▷ 健康的な生活で**免疫力を高める**ことが、**結核の予防**につながる
- ▷ **早く見つける**ことで**重症化を防ぎ**、**周囲への感染予防**につながる



利用者が結核（疑い）と診断されたら①



▶マスクの着用と個室対応

結核（疑い）の方

- 入院を施設で待つ間は、サージカルマスクを着用してもらい、**個室対応でドアはしめる**

職員や家族等

- 個室へ入るときはN95マスクを着用し、部屋を出たら交換（使いまわさない）
- 乳児などの面会は禁止する
- 車で入院先へ搬送する時も、同乗者はN95マスクを着用する

利用者が結核（疑い）と診断されたら②



▷ 基本的な流れ

①

医師から保健所へ “発生届” を提出

②

発生届をもとに、保健所から本人へ調査

③

保健所から施設へ調査

（患者の病状や生活、患者と接した方の健康状態を確認）

④

調査の結果、必要な接触者に健康診断を実施

利用者が結核（疑い）と診断されたら③



▷接触者健康診断について

▷主な検査

結核の「感染」を血液検査で、「発病」を胸部X線検査で調べる

▷実施時期

施設の定期健康診断の状況なども検討し、適切な時期に行う

※結核に感染した後、血液検査で**感染の有無が分かるようになるまで3カ月ほどかかる**

→あわてて検査をすると、正確な結果が得られないこともあるため、保健所と連絡を取りましょう。

高齢者の結核を早期発見するには？



◆サービス利用開始時の健康チェック

- ▷ 2週間以上続く呼吸器症状や胸部X線写真に異常陰影があるときには、医師へ相談し、喀痰検査の必要性を確認する

◆定期健康診断時の健康チェック

- ▷ 年に1回、定期健康診断を実施し、異常陰影の有無について確認する

◆日常的な健康観察

- ▷ 高齢者結核では、咳や痰が出ない割合も高く、継続する体調不良や食欲不振や体重減少等、日常の健康観察が大切

職員・利用者の健康を守りましょう



他の病気と同じように、**早期発見・早期治療**が大切

症状がなくても、

年1回は必ず健康診断（胸部レントゲン検査）を受けましょう
精密検査の通知が来たら、**必ず受診**しましょう

※感染症法第53条の7に基づき、

社会福祉施設等で従事する者・65歳以上の入所者（その年度に65歳となる者を含む）
の**結果報告**が義務付けられています！